

ボランティアでつなぐ



明るい社会づくり佐倉

現在の会員は約120名です。活動内容は、JR佐倉南口花壇に花植え作業を年間2回、草取りを年2〜3回。JR佐倉駅前北口の清掃を毎月2回、京成志津駅前の清掃毎月1回、印旛沼周辺の清掃を年1回実施しています。



自らの生き方を正し、社会を明るくしようと志を同じくするグループ
活動日：毎月1回他

6月26日午後花植え作業取材しました。今回の参加者は、臼井、大崎台、田町地区の33名でした。50〜70歳代の方が多く、91歳の方も一人おられました。



代表の露崎さんは「会員の高齢化が一番の悩みです！若い方に是非入会して欲しい。」との切なる願い・・・私も同感です。他のグループ・個人の方も参加をお願いします。今回は、オレンジとイエローのマリーゴールドを4,320本植えつけ私たちがも少しだけお手伝いをして帰りました。



取材：堀井、飛田



ほっとくらぶ

6月27日(金)の午後1時八幡台会館にお伺いしました。会場のセッティングが始まり、糊の効いたテーブルクロスに可愛い生花が置かれ、琴、三味線、尺八の準備がはじまっていた。地域の方々が一人で来ている人、仲良しグループ等、席に着くと手作りのケーキとコーヒーが運ばれてきました。白いエプロン姿のスタッフが、さりげなく動いています。素敵なカフェが出来上がりました。



1時半過ぎ邦楽の調べと共に、和と洋がマッチしたのは、心のこもったおもてなしのせいでしょうか。全員で懐かしい唄を合唱し、各々語り合い、心豊かなご様子で帰られました。

男女ともちょっとのおめかしが品よく映り、このスマートな『ふれあいほっと』を拝見し、幾つになっても、おしゃれはすべき！と教えて下さいました。

毎回色々な方をお招きし、楽しんでおられるとのこと。無理なく長く続けるコツなのかも知れません！ほっとくらぶの活動はこの『ふれあいほっと』以外にもたくさんの地域活動を行っています。

取材：関野



八幡台にお住いの方のためのボランティアグループ
活動日：毎月第4金曜日「ふれあいほっと」、随時依頼に応じて

地域のわあ〜

人づくり街づくり環境づくり

過去に印旛沼拠点(2,700坪)で活動趣旨に沿った多岐の活動を行って良い結果を出しながら借地拠点売却のため如何とも成しがたく、拠点を現在の場所 東邦病院道路を隔てて南側(600坪)に移転して、次世代育成を考慮し子育て支援の一環として、自然の中で観察・物づくり等の体験学習を中心とした「もう一つの学校」と名付けた「たつのこむら」を立ち上げ15年間活動を続けています。

大切な幼児期(〜10歳位まで)自然の中での体験学習が心豊かな人格形成に極めて大切な活動です。



この活動は会員制ではなく、体験項目の中で興味ある子どもを募り(父兄を含む)会費を頂き活動を運営しています。しかし、残念なことに最近は働くお母さまが多く、参加するお子さんが少なくなっています。とても良い情操教育としての活動ですので、お子様をお持ちのお母さま方は積極的に参加されることを望みます。



指導：篠原正先生

「市民力を地域力に」街づくり活動、「もう一つの学校」たつのこむら
活動日：子どもの自然遊び：第1・第3日曜日、
幼児の外遊び：毎週金曜日、印旛沼浄化：毎週土曜日他

【活動趣旨】

今後の環境の激変・人口減・少子高齢化・地域経済的疲弊・次世代の育成・地域社会の再生・高齢市民の地域貢献役割等の対応策を考慮した活動



取材：早川、高橋、西河

個人ボランティア 関野洋子さん

夏の活動：①老人介護施設「ときわの杜」夏祭り、②千成地区「夏祭り」のご活動取材させて頂き、こども達の慰問に感激し記者は地道でかつ積極的な活動に深い感銘を覚えました。

関野さんは毎朝公園等の草とりを日課として励行されています。



一方県内外の活動家との関係もお持ちです。佐倉市の居住地分散型都市構成の中で、市全体を対象とする記者=小生の活動は、なかなか参加を得られず悩んでいます。しかしこの単位自治会重視のボランティア活動(自治会)は、これからの介護、子育て支援、地域結束での基礎、基盤の原点活動になる様な気がいたしました。

またご活動の千成地区は東京の下町の住民結束が素晴らしく、取材よりも勉強と再発見の見学でした。また関野さんの盆踊りの和服姿は凛としてほれほれとしました。



取材：高木



地域での活動や、施設へ踊りでの訪問 活動日：随時依頼に応じて